

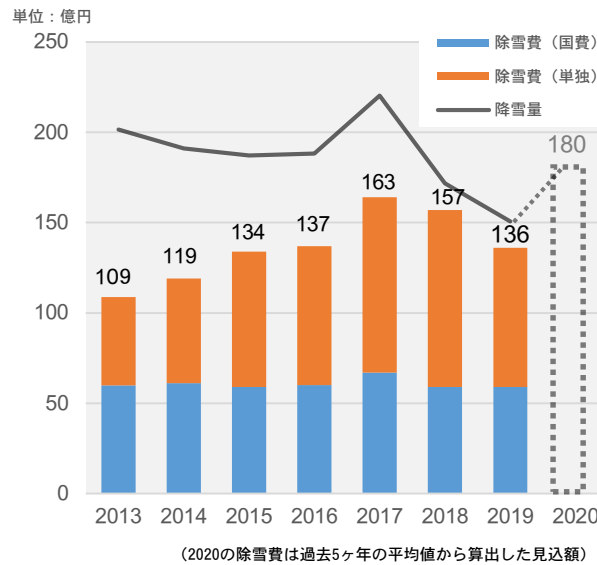


除排雪の現状と課題

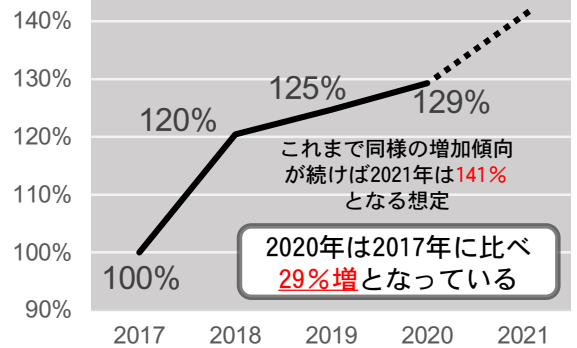
■労務費や諸経費率の増加により除雪予算が年々上昇

- 年間降雪量は少雪傾向にあるが経費上昇により**除雪費が年々上昇**している。
- 除雪費のうち、単独は増加傾向 **（道負担の増）**

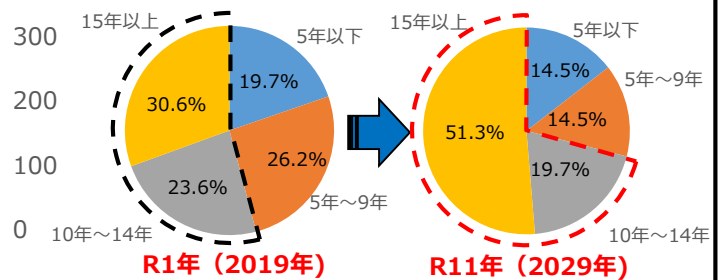
【除雪量と除雪費の推移】



【労務費、諸経費の上昇率】

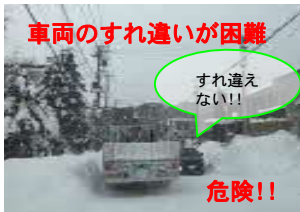


■保有除雪機械の経過年数



※今後10年で老朽化した機械が**71%**を占める
 * 除雪トラックなどの標準使用期間は約**15年**

■除雪が滞った場合の道路利用者への影響



■除雪体制の安定的な維持確保

【除雪業者の現状】

- ・除雪機械の老朽化等による維持的経費の負担増
- ・オペレーターの高齢化、担い手確保の難しさ
- ・経営体力の減少（本業（工事量）の減少）など

【気象状況の変化（令和元年）】記録的な小雪

除雪体制崩壊の危機

安全な冬期交通を確保するため、除雪単価の上昇を踏まえた予算確保が必要

■除排雪に係る財政支援の充実・強化

冬期における円滑な交通確保のため、近年の労務費や諸雑費等の上昇に伴う経費の増加を踏まえ、除排雪等に必要予算を確保するとともに、地域の実情に応じた交付金の柔軟な執行に対応すること。また、少雪時でも除雪業者が経営を維持できるよう最低保証などの制度を創設すること。